

# オリエンテーション 脱炭素おおい町民会議

柳下正治  
(環境政策対話研究所 (IDEP) 代表理事)

# I. 脱炭素おおいそ町民会議について

- ◆ 2025年度神奈川県「高校生・地域向け脱炭素普及啓発事業」の一環として実施。
  - ・市民による脱炭素の取組の自分事化や行動変容の促進
  - ・脱炭素社会づくりを地域で加速
- ◆ 県事業は、2つのプロジェクトで構成
  - ① 高校生向け脱炭素教育
  - ② 脱炭素の推進に向けた**地域版ワークショップ**
    - i 脱炭素はだの市民会議 7~11月
    - ii **脱炭素おおいそ市民会議 8~ 2月**
    - iii 脱炭素ふじさわ市民会議 11~ 2月
- ◆ 2019年に欧州で生まれた「気候市民会議」の方式を基礎として実施。

## これまでの実績

### 2023年度

- ・厚木市地域
- ・逗子市・葉山町地域
- ・横浜市青葉区地域

### 2024年度

- ・茅ヶ崎市地域
- ・鎌倉市地域
- ・田園都市線沿線地域

## 2. 脱炭素おおい町民会議の背景

- ◆ 大磯町は保養地として著名。歴代総理や文化人等  
緑豊かな住宅都市（山林34.3%、農地18.5%、住宅17.1%）
- ◆ 大磯町は、2023年度に初めて「大磯町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定。
  - 計画には、町民に期待する具体的な脱炭素行動が特記
  - 大磯町としては、町民の中で脱炭素行動がどこまで進展しているか、直面する課題は、行政等への要望等は何か等…町民の実情や率直な意見を把握したい
  - 町民会議の成果を2026年度以降の大磯町としての脱炭素大磯づくりの施策に生かしていくことを期待
  - 大磯町長の強力なイニシアティブ

### 3. 脱炭素おおいそ町民会議の実施体制

主 催：脱炭素おおいそ町民会議実行委員会  
大磯町

○ 脱炭素おおいそ町民会議実行委員会…町民会議の推進に関わる重要事項を協議・決定し、町民会議を円滑に推進

委員長	松浦 治美	大磯町 環境政策担当参与
副委員長	岡部 幸江	一般社団法人 大磯エネシフト 理事長
委 員	オダギリ ミホ 加藤 洋 原 大祐 半田 志野 八尋 陽子	大磯古道山道つなげ隊 代表 (一社)神奈川県高圧ガス保安協会 副会長 WWF BEEプロジェクトメンター 大磯町環境審議会 委員 ゼロウェイスト・マルシェ 主催

事務局：一般社団法人 環境政策対話研究所(県事業の受託組織)

住所：〒215-0021 川崎市麻生区百合丘1-18-5 アビタシオン百合ヶ丘304  
会議当日の緊急連絡先：044-387-0116、070-1240-3481

## 4. 脱炭素おおいそ町民会議の枠組み・目的

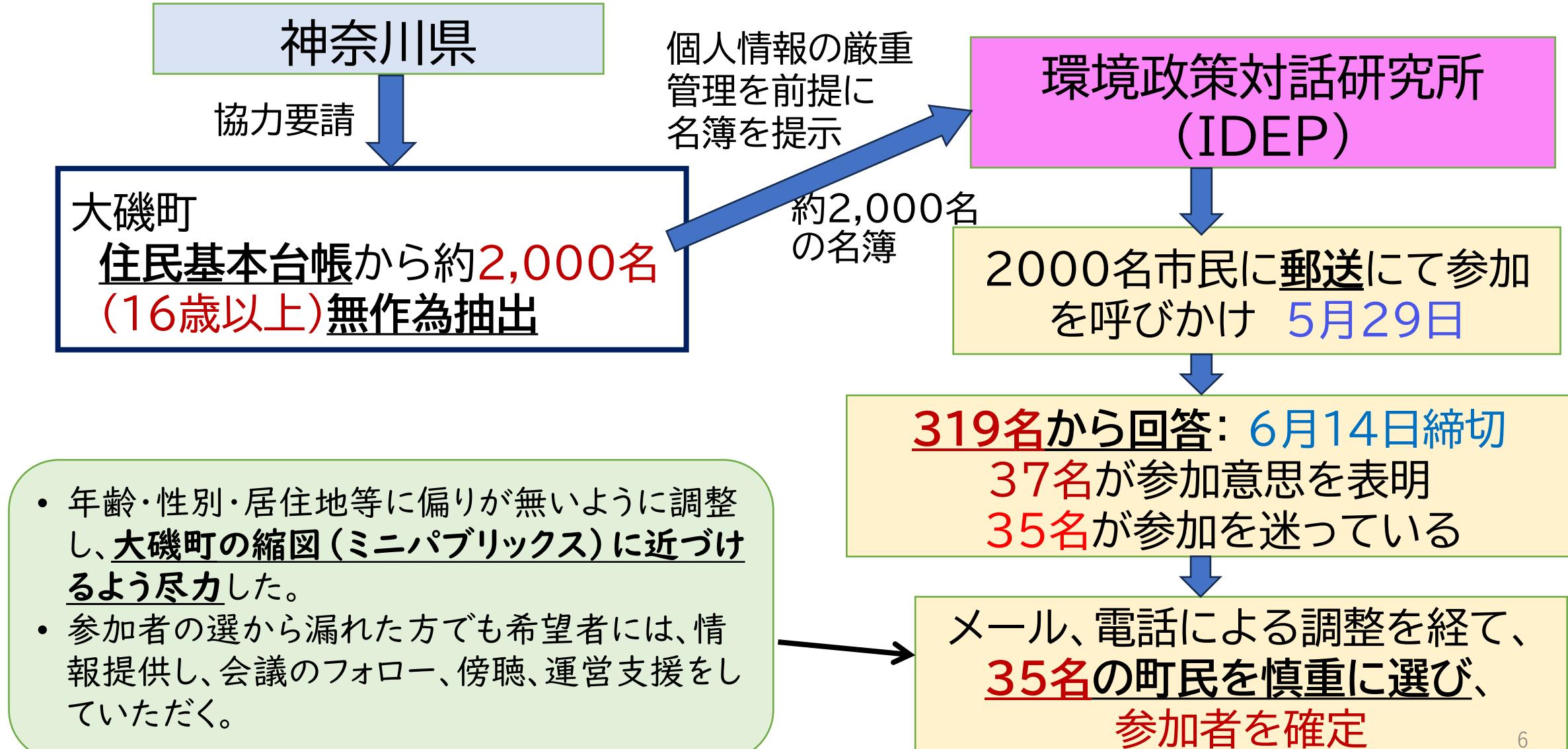
- ◆ 「脱炭素おおいそ町民会議」は、脱炭素おおいその実現を目指し、大磯町民が町民目線で対話を繰り返し、とことん話し合いを行う場
- ◆ 会議の主役は、無作為抽出(くじ引き)により選出された大磯町民（35名）
- ◆ 町民会議の直接の目標は大きく次の3つ。
  - ① 町民による対話の結果を、町民提案としてまとめること（12月頃）
  - ② 町民提案を大磯町に提出すること（1、2月頃）
  - ③ 併せて、町民提案を大磯町民に広く報告し、社会に発信すること（2月頃）
- ◆ 町民会議は2026年3月には終了するも→地域に町民提案が息づき、人材が生まれ、町民参加の経験・ノウハウが定着し…

町民提案が



- 町民自身の今後の脱炭素への取組みの道しるべに
- 町民と地域社会との連携の炭素の取組みが進展し
- 大磯町による脱炭素大磯づくりへの施策に生かされる

## 5. 参加町民（35名）はどのように選ばれたのか



## 6. 参加町民（35名）の構成

### ◆年齢・性別

年齢構成	男性	女性	計	人口構成からみた人数
70歳～	5	2	7	11.3
60歳～	2	3	5	5.1
50歳～	3	4	7	6.5
40歳～	2	3	5	5.2
30歳～	3	1	4	2.9
20歳～	1	2	3	2.6
16歳～	2	2	4	1.5
計	18	17	35	35
人口構成	16.9	18.1		

### ◆地域別

ブロック	地域別人数	人口構成からみた人数
大磯	18	19.6
国府	17	15.4
大磯町	35	35

- ・ 参加希望者：男性24名、女性13名であった。特に20歳代、30歳代がゼロであった。
- ・ 参加希望者：大磯18名、国府19名であった。大磯の女性の希望者が少ない傾向にあった。
- ・ 迷っている方に声がけしてバランスをとった。

# 7. 脱炭素おおいそ町民会議の体制

## ■ ファシリテーター

町民による円滑で活発な対話をお手伝いする

全体Fa:

徳田太郎 ウニベルシタスつくば／  
VOICE and VOTE代表

グループFa:

川瀬裕子、鈴木秀顕、鈴木優子、石澤志津、長谷川優介、石澤直樹、高瀬桃子、辻坂吟子

町民による対話は、全員で話し合う会合と、5, 6人程度で話し合うグループ討議で構成されます。

## ■ 専門家

参加町民に必要情報を提供し、必要に応じてアドバイスする。

8月3日

亀山康子（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）  
磯崎清彦（大磯町大磯町産業環境部環境課副課長）  
柳下正治（IDEP代表理事）

8月24日

稻田素子（IDEP理事）

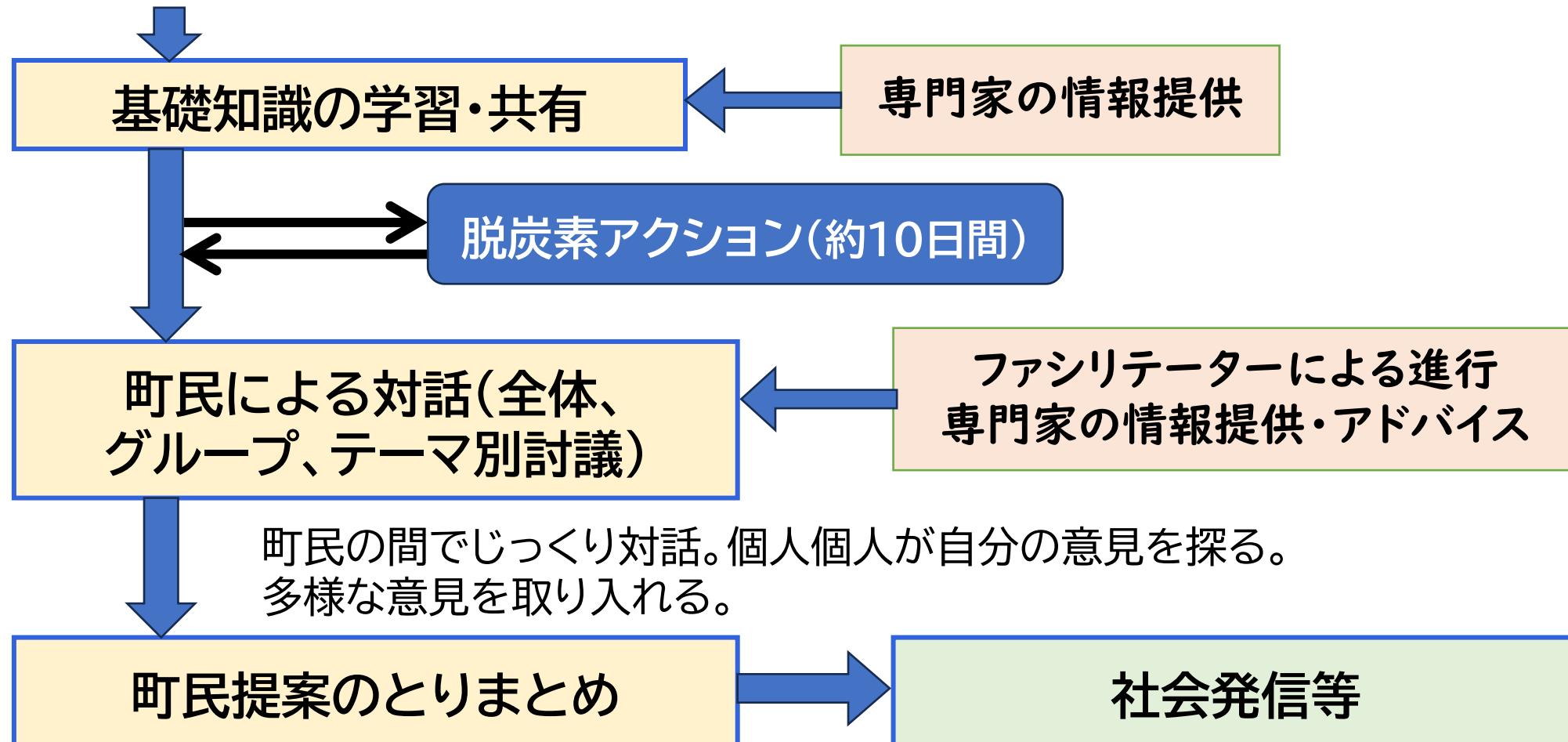
10月26日

脱炭素アクションの振り返り：  
実行委員の専門家を中心に、質疑応答、アドバイスを行う。

第4回会議においては、町民対話の進展に応じて、関連する分野の専門家・実務者等を招聘する。

# 8. 町民会議の進め方

## 一般町民（大磯町の縮図）



## 9. 町民会議の日程と進行

### 町民会議の会場:

1~5回…大磯町保健センター研修室  
6回…ノジマ大磯スクウェア会議室

**第1回**  
8月3日 午後  
・オリエンテーション、顔合わせ  
・情報提供:気候変動、大磯町の施策  
・脱炭素行動を知る/自己点検

**第2回**  
8月24日 午後  
・脱炭素アクションを知る  
・情報提供:大磯町の地域情報  
・脱炭素アクションの実施分担

**第3回**  
9月28日 午後  
・脱炭素アクションの振り返り  
・脱炭素おおいそに向け深く話し合いたい課題を明らかに

**第4回**  
10月26日一日  
・移動、住まい、消費、吸収源の4テーマに分かれ  
・専門家等による情報提供・アドバイス  
・グループ討議(テーマ別G)

**第5回**  
11月30日午後  
・町民提案(素案)について議論  
・残された課題について話し合う。  
・町民提案の集約  
・会議の振り返り

**脱炭素アクションに挑戦  
—10日間—  
結果を事務局に報告**

**え  
討議結果を集約、町民提案(素案)の作成**

**第6回**  
2月1日一日  
・町民提案の発表・発信  
・脱炭素おおいそづくりに向けて

# 10. 動画・写真・SNS/自由な発言の保証

## ◆動画・写真の撮影

町民会議では、会議の様子を広報する目的で、動画及び写真の撮影を行いますが、写真や動画に映りたくない方は、事前に事務局まで、お声掛け下さい。

## ◆SNSなどの発信

会議の簡単な内容やご自身の感想などをSNSなどで個人的に発信することは歓迎します。ただその際、他の参加者が写った写真や、発言者が特定できる形での意見の紹介等の投稿は行わないよう、お願いします。

## ◆自由な発言の保証

町民会議は、「誰がいつどんな発言をした」というような、個人が特定化されるような形で公表してはならない、というルールの下に、実施します。主催者はこのルールを傍聴者も含め、全ての関係者に徹底し、参加者の自由な発言を保証します。

## ◆個人情報の管理の徹底

事務局は、町民会議への参加者等、個人の情報の保護・管理には徹底を期します。